

# 多発する災害 日本中を停電レスに

## 災害と停電時の太陽光発電活用例

発生日	災害	停電
1995/1/17	阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)	最大260万戸
2004/10/23	新潟県中越地震	30万戸以上
2011/3/11	東日本大震災	460万戸以上
2016/4/14	熊本地震	47万戸以上
2019/9/5	令和元年房総半島台風(6日間に及ぶ水害)	93万戸以上
2019/10/6	令和元年東日本台風(2日間の大型台風)	52万戸以上
2020/7/3	令和2年7月豪雨(約1か月に及ぶ大型台風)	1万戸以上
2021/2/13	福島県沖地震	95万戸以上
2022/3/16	福島県沖地震	220万戸以上
2024/1/1	能登半島地震	4万戸以上

### A社様

1週間近い停電が続くなか、千葉県自治体と協力して飲食店・産地直売所に小さい太陽パネルと蓄電池を運び、停電時に食事や買い物に訪れた地域住民に無料でスマホや携帯などの充電を行った。

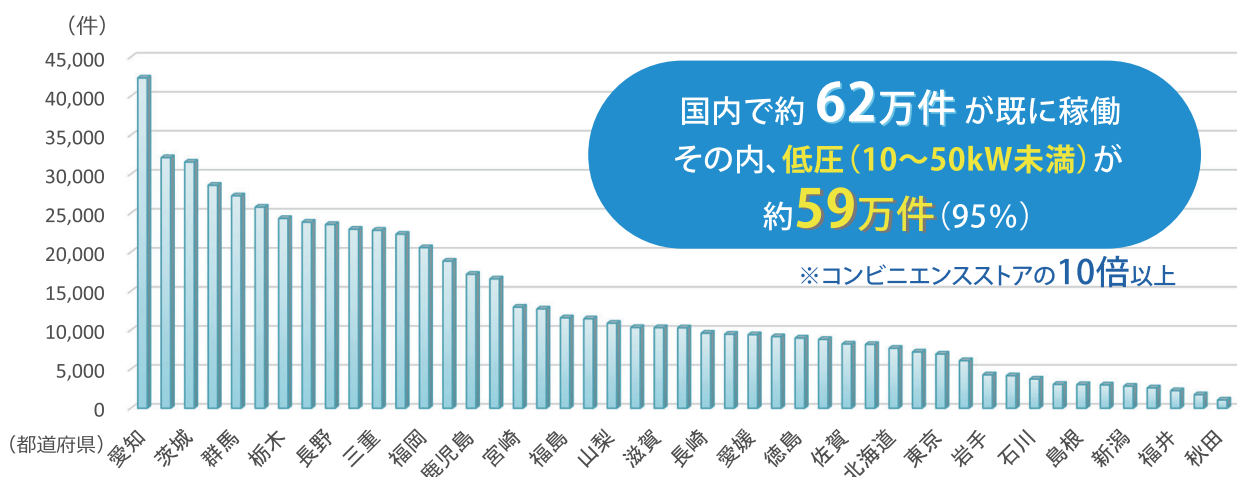
また、地域の人々にスマホや電化製品、蓄電池を発電所にもってきてもらい、太陽光発電でつくった電気を使ってもらえるようにした。

災害時に自社所有の20発電所を開放し、地域の電力として使ってもらえるよう、協定を市と締結した。

### B社様

富津市内に保有する低圧発電所を自立運転モードに切り替え、近隣の住民に電力を提供した。3.11の震災を踏まえて建てた太陽光発電所は、設計段階で非常時に電力を供給できるよう自立運転機能付きのPCSを採用。コンセントも用意し、「太陽光発電所の前に電気を自由に使ってください」とのぼり旗を立て、SNSでも拡散したことで、多くの方々に利用してもらうことができた。

## 産業用(事業用)発電設備の導入状況



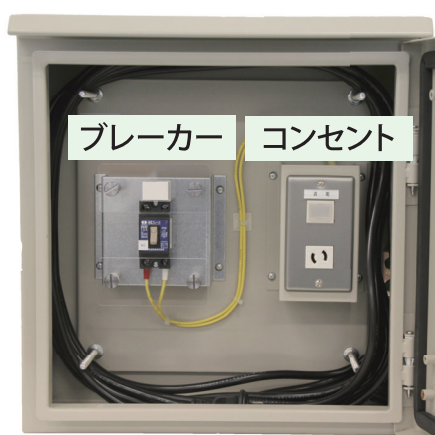
資料) 資源エネ庁 固定価格買取制度 情報公開用ウェブサイト当社グラフ化 ※2020年3月末時点 データ(新規導入件数)

しかし、停電時に自立運転がつかえる発電所は  
1割にも満たない! 非常時にこそ強い、  
**分散型電源の実現**が地域に求められている。



## 自立運転機能用外部コンセントキット

新設はもちろん既設の野立て太陽光発電所でも、パワーコンディショナの自立運転機能を活用して、停電時に電気の使用を可能にします。



ブレーカー、コンセントがセットされているので、既設の発電所に簡単に設置できます。



パワーコンディショナに隣接した場所や、発電所のフェンスなど、好きな場所に設置できます。



「救電BOX」を設置していれば、停電の際に地域の方々に電気を供給できる非常用施設になります。

**組み立ての手間が掛からず、既設の発電所にも簡単設置**